



株式会社北川鉄工所

個人投資家向け説明会資料

2025年11月13日

株式会社北川鉄工所

証券コード:6317(東証スタンダード)



おかの きみお
岡野 帝男

誕生日： 1963年1月12日

出身地： 東広島市西条町

趣味： 旅行(温泉) ゴルフ お酒

- 1986年4月 株式会社広島銀行入行
- 2012年4月 同社府中支店長
- 2017年4月 同社執行役員福山営業本部長
- 2019年4月 同社常務執行役員(地区担当)
- 2021年4月 同社取締役常務執行役員
(融資部・船舶ファイナンス部担当役員)
- 2022年6月 しまなみ債権回収株式会社代表取締役会長
- 2023年4月 当社非常勤顧問
- 2024年6月 当社代表取締役社長 兼 開発本部長(現任)

みなさんは北川鉄工所と聞いて
どんなイメージをされますか？



こんな
イメージですか？



それともこんな
イメージですか？



北川はこれだけではありません！

実は皆さんはすでに北川鉄工所の製品を
街中で目にされているかもしれません



(株)ひろぎんHD本社
立体駐車場



広島国際空港(株)
立体駐車場



福山駅南口再開発
タワークレーン

その他立体駐車場施工実績

- 広島市民病院
- 福山市民病院
- 旧広島テレビ跡地立体駐車場 など

1,000基以上の
納入実績

このほかにも当社には様々な魅力があります！

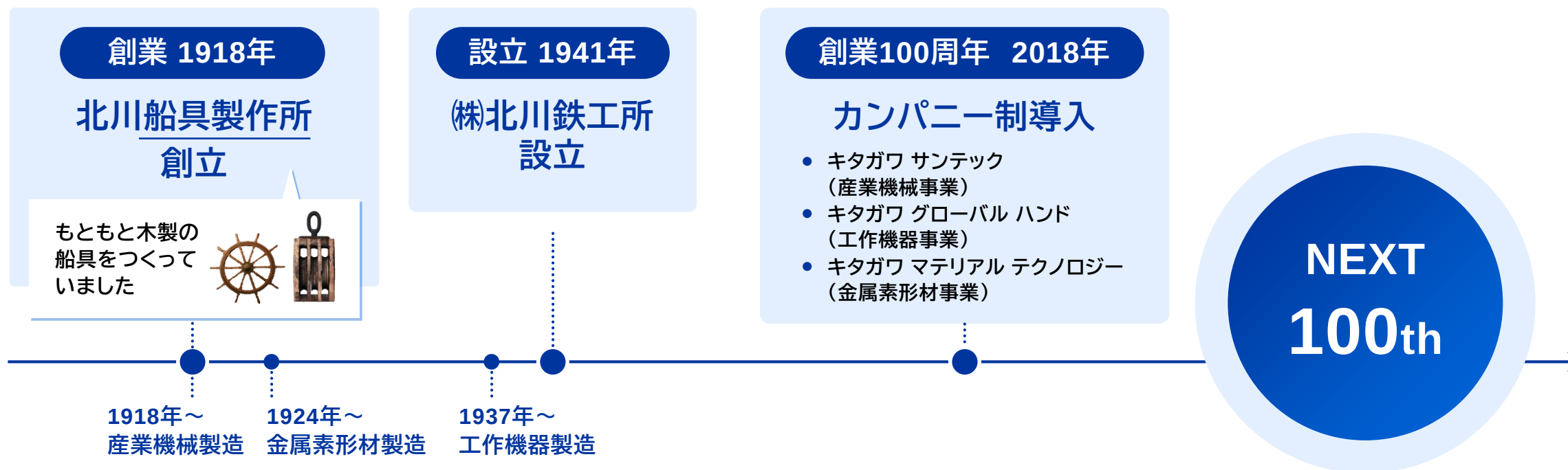
Index

目次

- 01 北川鉄工所について
- 02 事業紹介
- 03 中期経営計画2027概要
- 04 業績・株主還元

01

北川鉄工所について



企業ビジョン

株式会社北川鉄工所はものづくりという業にあって
お客様の喜びを我々の喜びとし
素直な心を尊び、勇気ある行動を敬い
自己実現の場として、自律した活力あるリーダーを育成し
技術を誇り、未知なる世界に挑戦する

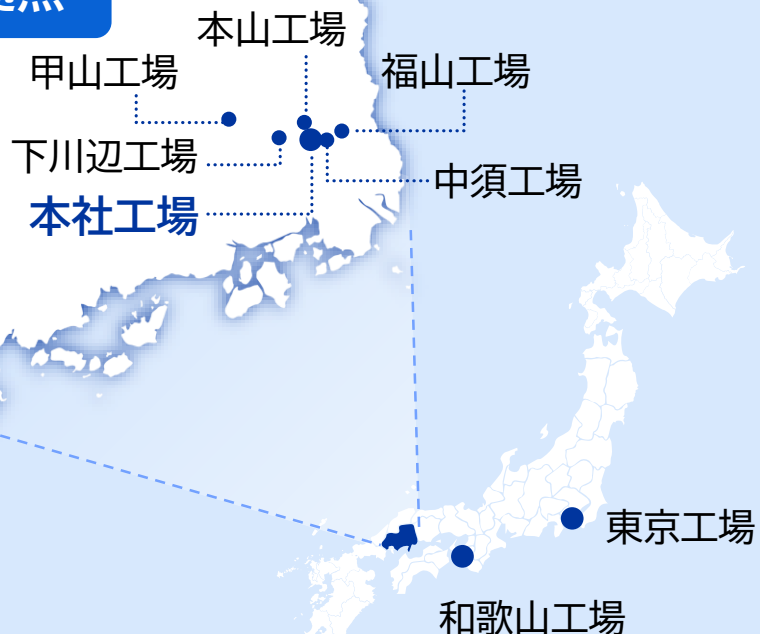
Quality Business を実践する集団である。

本社所在地	広島県府中市
関係会社 (持分法含む)	国内 5社
	海外 7社(中国、メキシコ、インド、アメリカ、イギリス、タイ)
連結従業員数	2,275名(2025年3月31日現在)

地元広島を中心に展開
海外にも工場を持つグローバル企業です

北川鉄工所本体

県内6拠点



関係会社

国内工場

北川冷機 株式会社
(世羅郡、福山市)

株式会社 北川製作所
(府中市)

新潟

北川グレステック
株式会社

(千葉県千葉市、新潟県長岡市)

千葉

広島

海外工場

北川(瀋陽)
工業機械製造有限公司

中国

KITAGAWA
MEXICO, S.A. DE C.V.

メキシコ

インド

KITAGAWA
TECHNOLOGY
INDIA PVT LTD.

マレーシア

SYSTEM SEIKO
MALAYSIA SDN. BHD.

海外4拠点

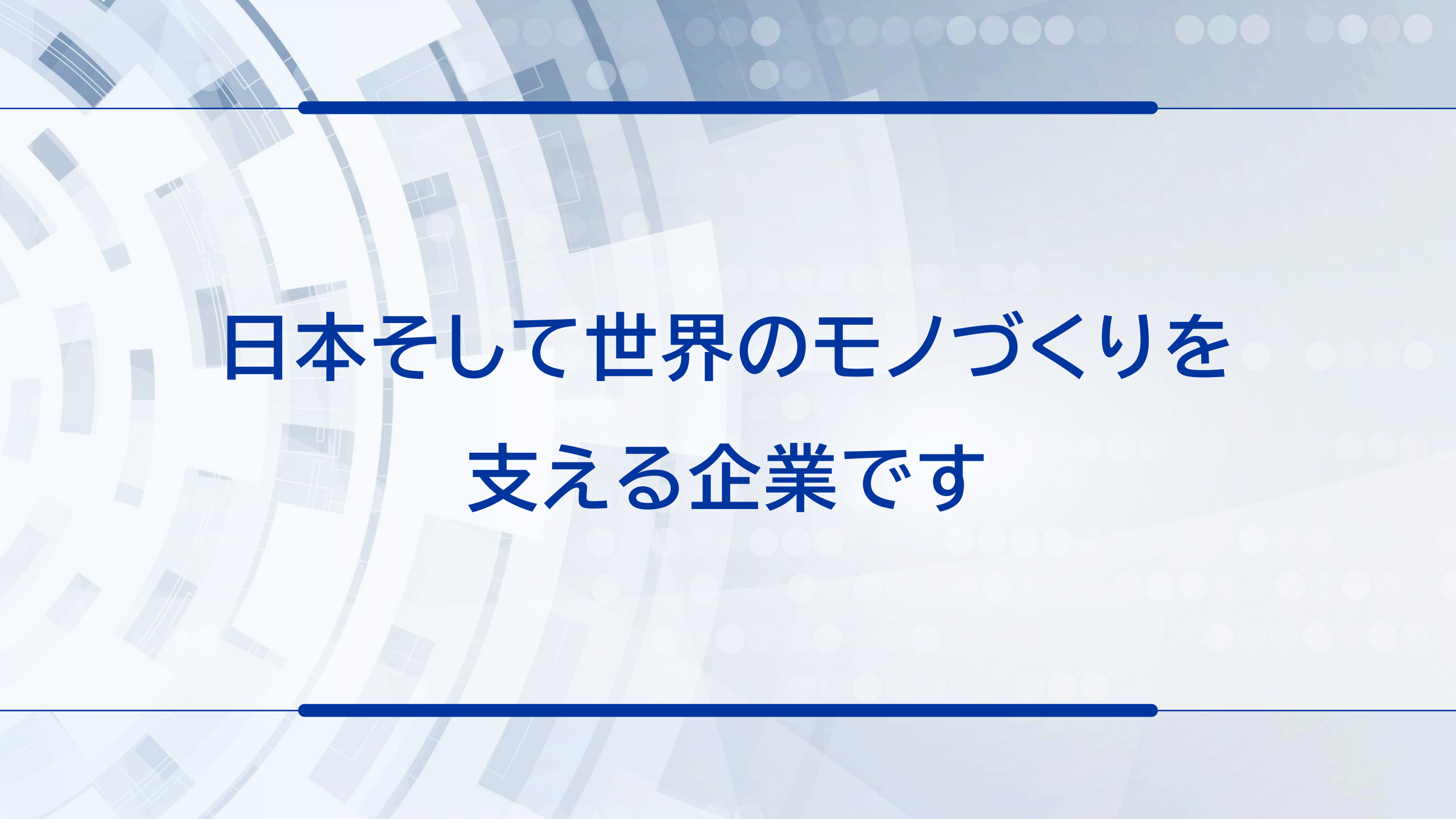
kitagawa

kitagawa

Kitagawa Corporation

 **itagawa**

北川鉄工所って何の会社？



日本そして世界のモノづくりを
支える企業です

あらゆるところでキタガワの製品が活躍しています

農業機械部品

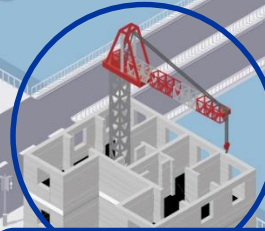
エンジン部品
足回り部品



トラクター

建設用クレーン

ビルや橋、風車
などの建設



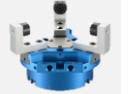
ビル、風車、橋



船

ロボットハンド

船舶部品の製造



円テーブル

スマートフォン
部品の製造



スマートフォン

日本全国の
生コンクリート
工場



コンクリートプラント

自動車部品

ミッション部品
駆動部品



自動車



立体駐車場

マンション、
病院、商業施設
などの
立体駐車場



チャック

電車、自動車、
航空機部品の製造



電車

創業

1918年

(創業107年!!)



パワーチャックシェア

60%以上

(国内第1位)



コンクリートプラントシェア

30%以上

(国内トップクラス)



従業員数

2,275名(連結)

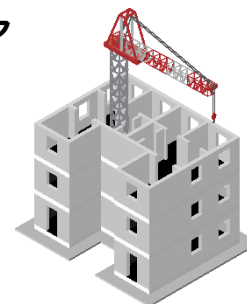
1,410名(単体)



建設用クレーンシェア

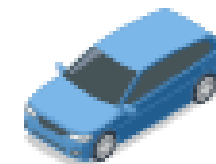
60%以上

(国内第1位)



自動車部品使用割合

15台に1台



拠点

国内**21**拠点

海外**10**拠点



HDD用磁気ディスク
自動研磨装置 世界シェア

80%以上

(業界第1位)



特許保有数

163件



半導体関連事業

25億円



金属素形材事業

KMTカンパニー

247億円



その他 特殊工作機械事業等
10億円(1.8%)

産業機械事業

KSTカンパニー

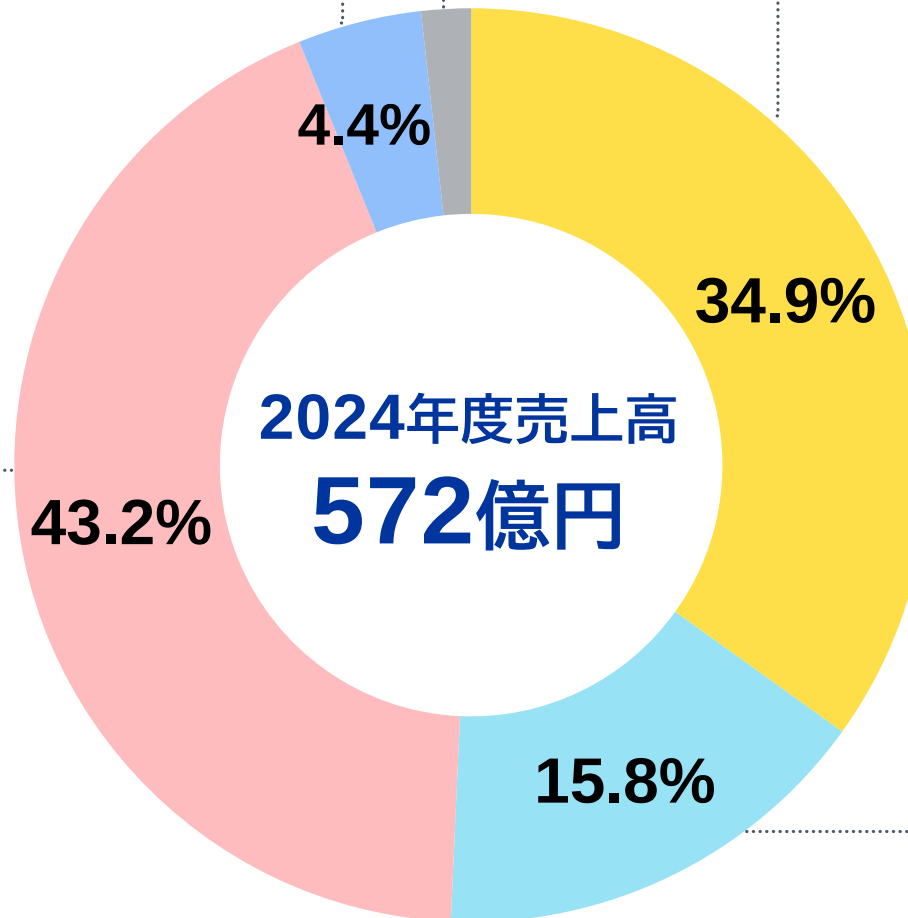
200億円



工作機器事業

KGhカンパニー

90億円



02

事業紹介

事業の概要

コンクリートプラント、建設機械、環境関連機器、立体駐車場の開発・製造・販売

- コア技術である「練り混ぜる」、「巻き取る」、「つり上げる」をベースとした製品を展開

事業の強み

- “高い練る技術”、“レイアウトの自由度”により
生コンプラントシェアトップクラス
- 数々の建設機械の共同開発・高い品質により培われた
大手ゼネコンとの強固な信頼関係
- 特許技術：駐車場内に柱の少ないスーパーロングスパン立駐
- ニーズに応える製品を生み出す開発力

トップシェア商品群

■ コンクリートプラント

国内シェア**30%**



■ 建設用クレーン ビルマン

国内シェア**60%**



■ 立体駐車場

国内シェア**20%**
(アウトレットモール用**40%**)



建設用クレーン ビルマン

抜群の作業効率

圧倒的工期短縮

によりユーザーの建設工事コスト削減を実現

kitagawaビルマンの競争力

■ 特徴

シンプル

組立部品の種類が少ない

軽量

設置場所にかかる力が少ない(補強が少なくて済む)

コンパクト

設置場所の制限が少ない



国内タワークレーンの
半数以上が

kitagawa製

過去

- 経済を支えるインフラ事業へ貢献する様々な機械を開発
- 当時後発ながら開発力により一躍橋梁架設機械メーカートップへ

■ 瀬戸大橋



トラバークレーン



起振機

- 橋梁の耐久テスト用機械
- 当時世界初の大型起振機を開発

■ 明石海峡大橋



トラバークレーン

現在

- 再エネやダム向け製品の開発など事業領域を拡大
- 老朽化したインフラリニューアル向け製品、工法の提案など
当社の技術で社会インフラの維持・拡大に貢献し続けます

■ 陸上風車



日本初！

風車建設用タワークレーン

■ ダム



国内最大級のタワークレーン
ダムのコンクリート運搬で活躍

大林組(株)と自動運搬システムを共同開発

■ 高速道路



しょうばん
床版取替機

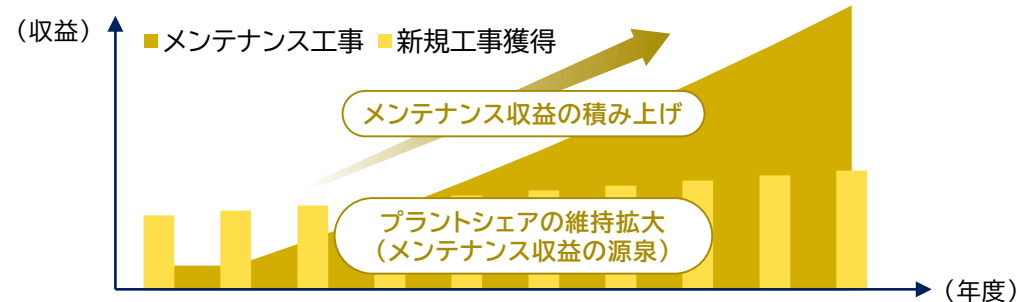
大成建設(株)と共同開発

高速道路リニューアル工において、
ゆかいした
床板交換に用いられる専用機械

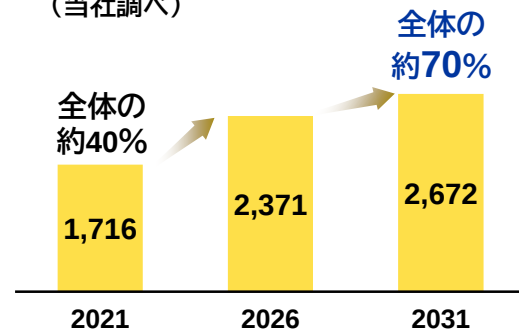
事業環境

- プラント老朽化による建替え需要の高まり
- 生コン単価上昇による設備投資余力の拡大
- カーボンニュートラル、環境負荷軽減に関わる需要の拡大

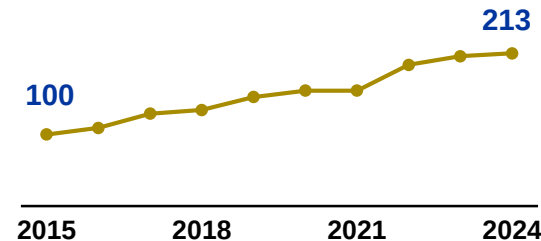
■ コンクリートプラント収益モデル(イメージ)



■ 築30年以上経過のプラント基数 (当社調べ)



■ 生コン単価推移 (2015年単価を100とした指標)



出典：一般財団法人経済調査会「生コンクリート都市別価格指数」

成長戦略

コンクリートプラント事業 生産能力強化

- 納期短縮、メンテナンス体制強化によりシェア及び売上高の拡大
- 競争力強化に向けた製品開発の強化

■ 競争力強化に向けた魅力あるプラント開発



実証プラント排水処理設備

鹿島建設(株)などと共同でカーボンネガティブコンクリートの製造技術開発プロジェクトへ参画

目標

コンクリート製造過程でのCO₂排出量実質ゼロ以下

当社参画領域

排水処理設備、技術

事業環境

- インフラ設備の**リニューアル需要**の増加
(開通後40年を超える高速道路の増加)
- 再生エネルギー投資等、環境負荷軽減に関わる
インフラ**整備需要**の高まり

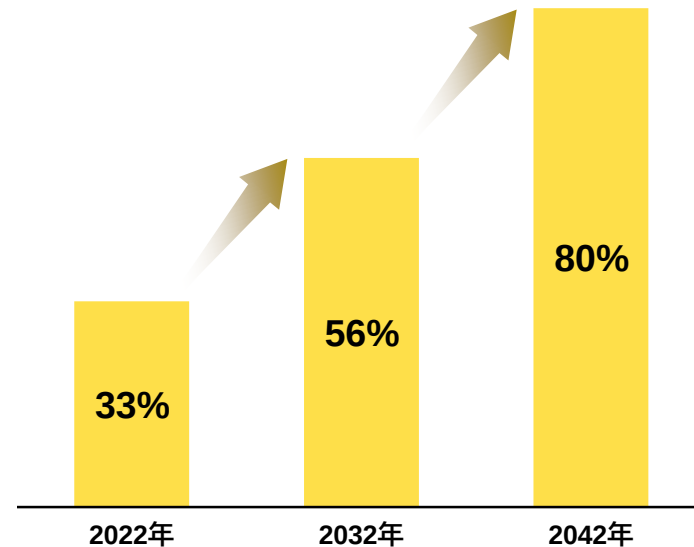
成長戦略

クレーン事業

特殊クレーンの売上拡大

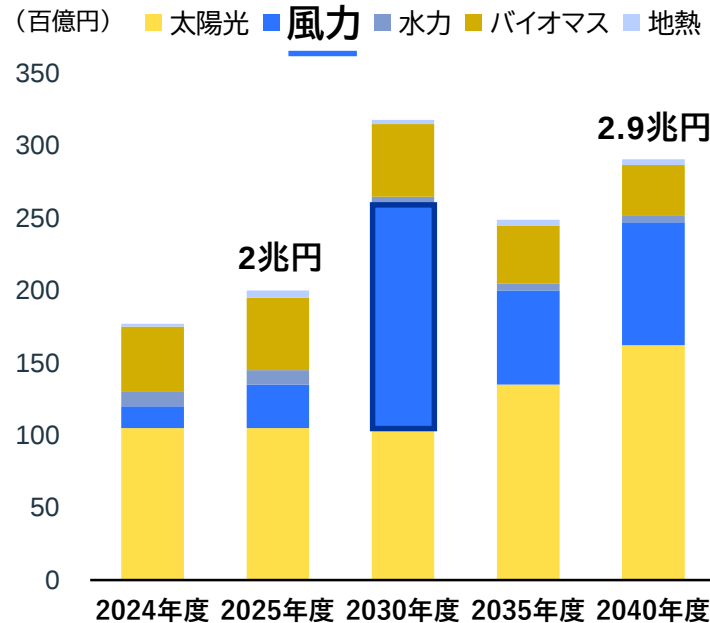
高速道路リニューアル、風力発電などビル向け以外の**インフラ工事用特殊クレーン**の売上高の拡大

■ 開通後40年以上となる高速道路の割合



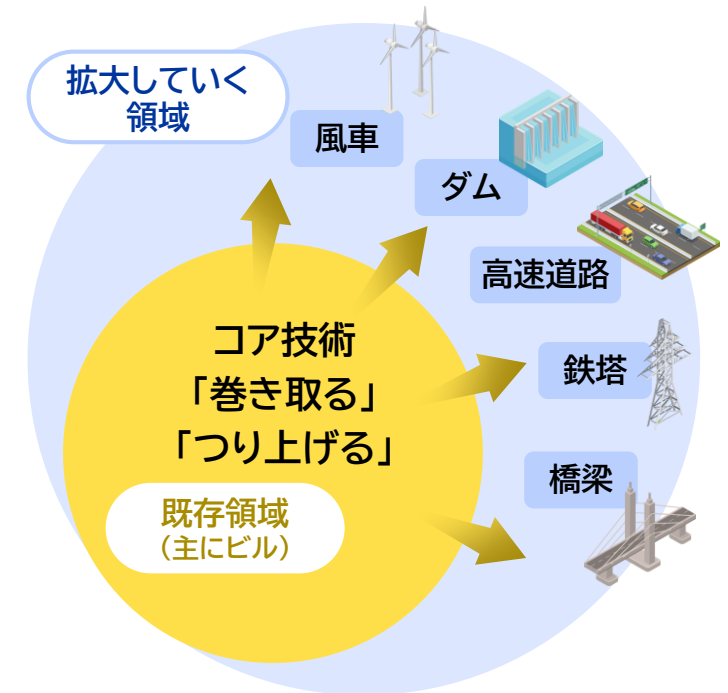
出典: 「NEXCO(東・中・西日本道路)更新計画について」をもとに当社作成

■ 再生可能エネルギー発電システムの国内市場



出典: 富士経済「再生可能エネルギー発電システム・サービス市場／参入企業実態調査 2025」

■ クレーン事業の事業領域



事業の概要

ワークホールディング(素材を固定する製品)の開発・製造・販売
 - 「つかむ、把握する」コア技術をベースとした製品を展開

事業の強み

- 品質に裏付けされた世界的なブランド力
- 全世界40ヶ国、50拠点以上の販売網

工作機械のコア部品製造

■ 旋盤用チャック



国内シェア**60%**

高精度・高耐久

主要国内メーカー機へ標準搭載

■ その他様々な工作機器を製造

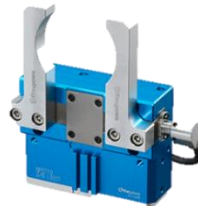
NC円テーブル



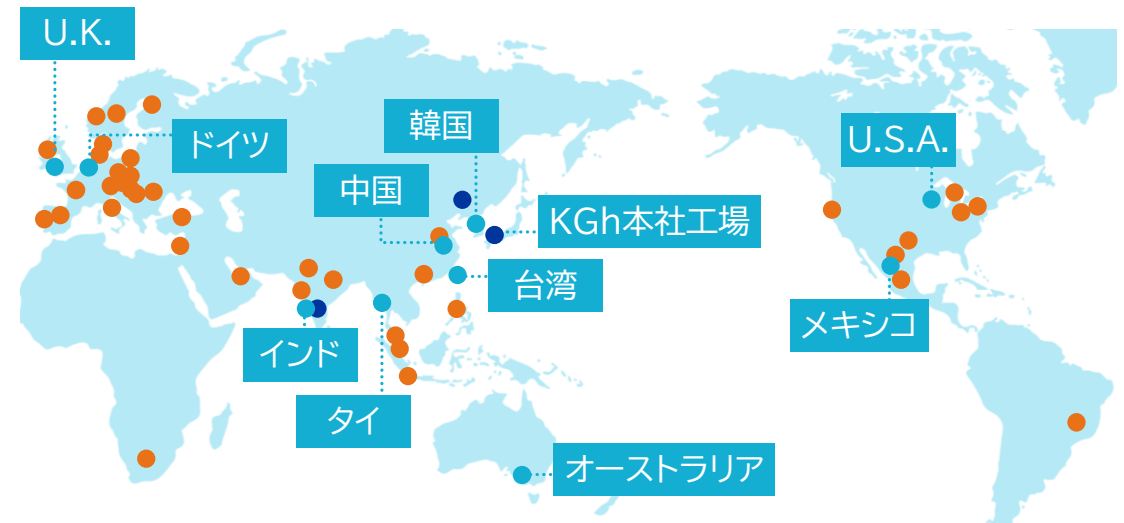
パワーバイス



ロボットハンド



世界に広がる販売網



● 海外代理店 ● 海外販売会社 ● 製造拠点

事業環境

- 中国、インドなど海外市場の成長
- 航空・宇宙・医療・半導体産業精密における複雑加工ニーズの高まり(欧州メーカー等)
- 人手不足を背景とした自動化設備、工程集約機の需要増

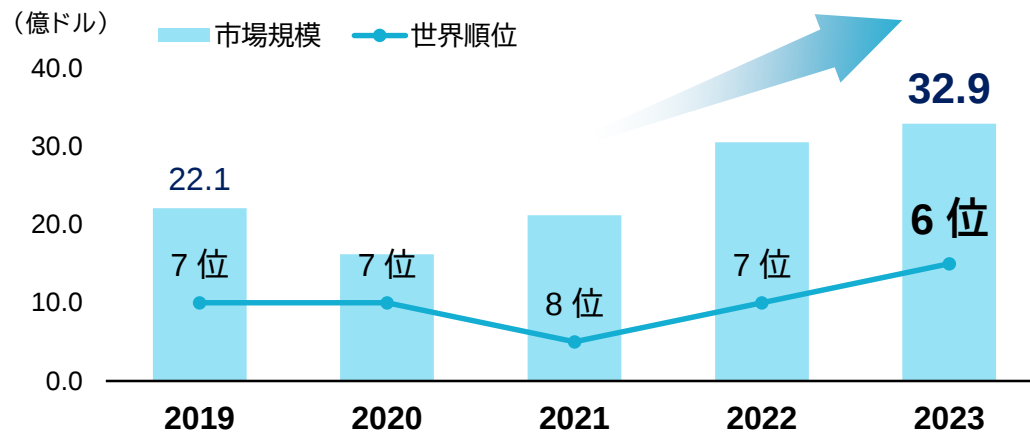
成長戦略

海外市場の攻略

- **インド新工場**の本格稼働による**生産体制強化**
- インド拠点を起点とした**販売・サービス網の拡大**
- **成長産業**に向けた**製品開発強化**(欧州・日本等のメーカー)

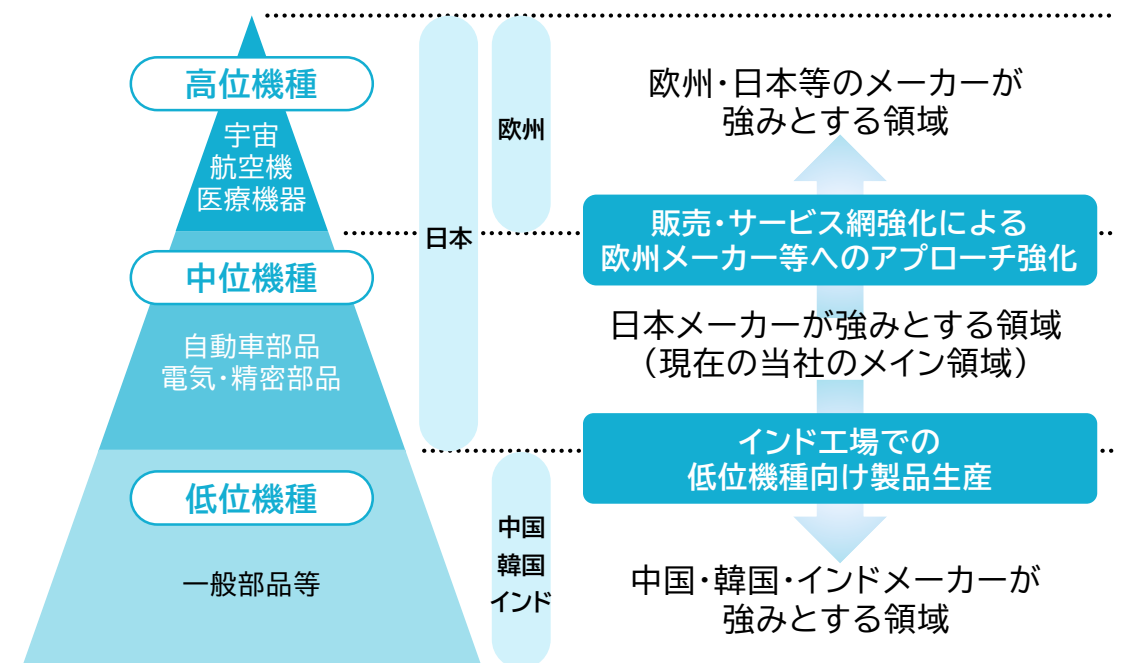
成長が続くインドの工作機械市場

■ インド 工作機械市場規模、世界順位



キタガワはインド国内でチャックシェア40%を達成
インド市場の成長とともに更なる売上拡大を目指す

業界構造



事業の概要

- 金属素材・鋳造技術の開発、鋳造品の製造・販売
 - 素材製造＋加工の**一貫体制で製品を供給**
 - **国内外に生産拠点**(広島、埼玉、メキシコ)
- 大手自動車メーカー、建機・農機メーカーに納入

事業の強み

- 硬度、形状など高難易度の部品を量産できる**技術力**
- 高度な**品質管理**、安定した**供給能力**
- 特定のメーカーに属していない**独立系メーカー**であり
様々なメーカーに製品供給可能

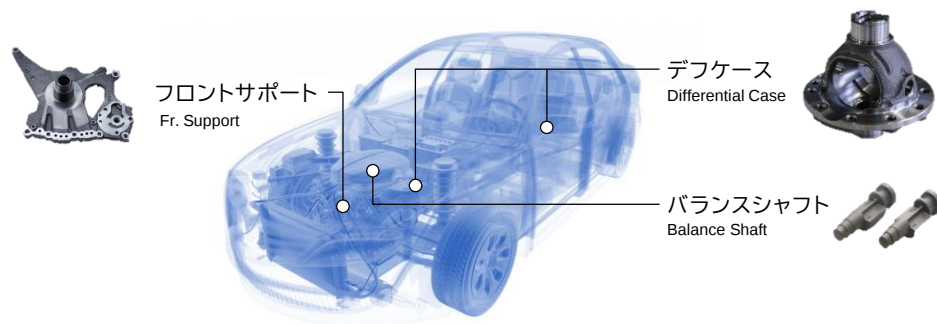
様々な鋳物部品の製造が可能

■ 売上構成

自動車部品(デフケース・ミッション部品) **57%**
 建機・農機部品(足回り部品・エンジン部品) **43%**

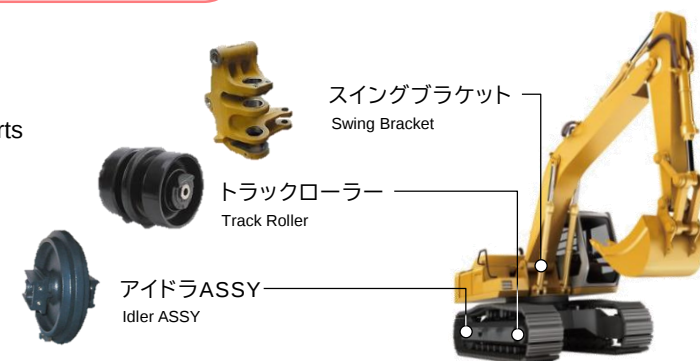
■ 自動車部品 Auto Parts

**世界で生産される自動車の
15台に1台はkitagawaの部品を搭載**



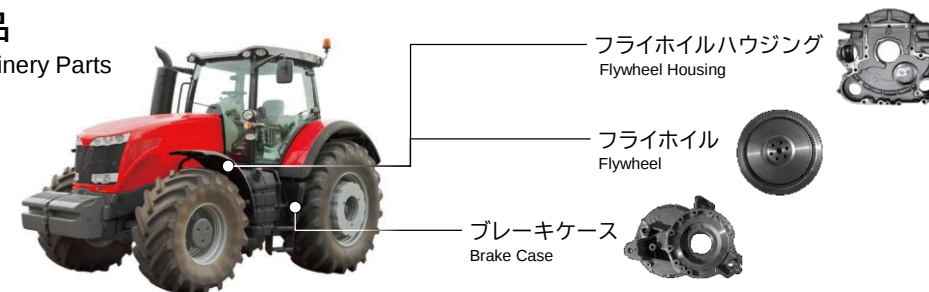
■ 建設機械部品

Construction Machinery Parts



■ 農業機械部品

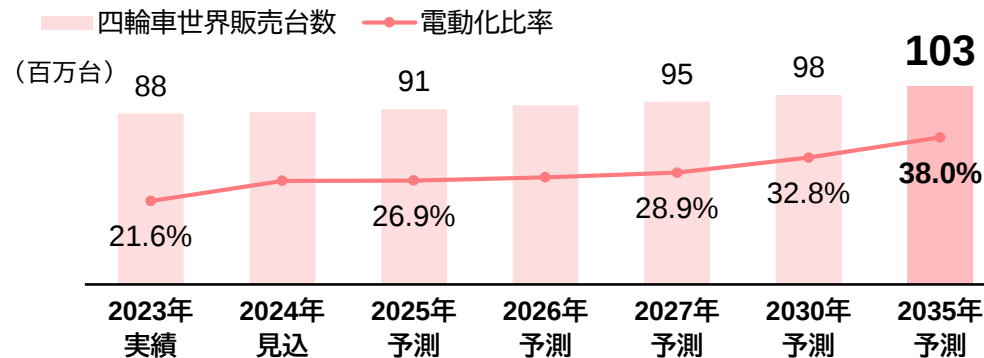
Agricultural Machinery Parts



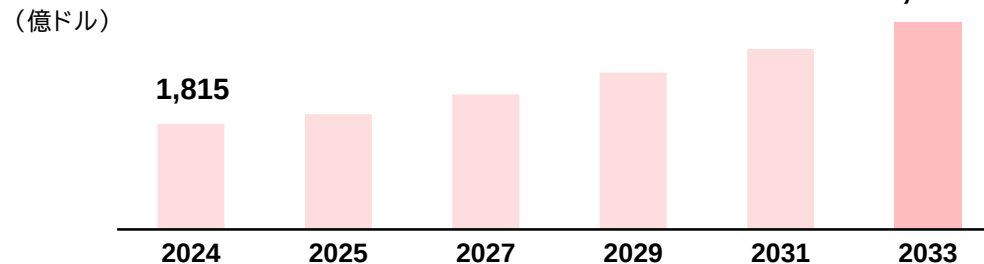
事業環境

- 自動車・農業機械市場は拡大傾向が続く見通し
- EV化は足元では鈍化傾向が見られるが、長期的には拡大の見通し

四輪車世界販売台数予測



世界農業機械市場

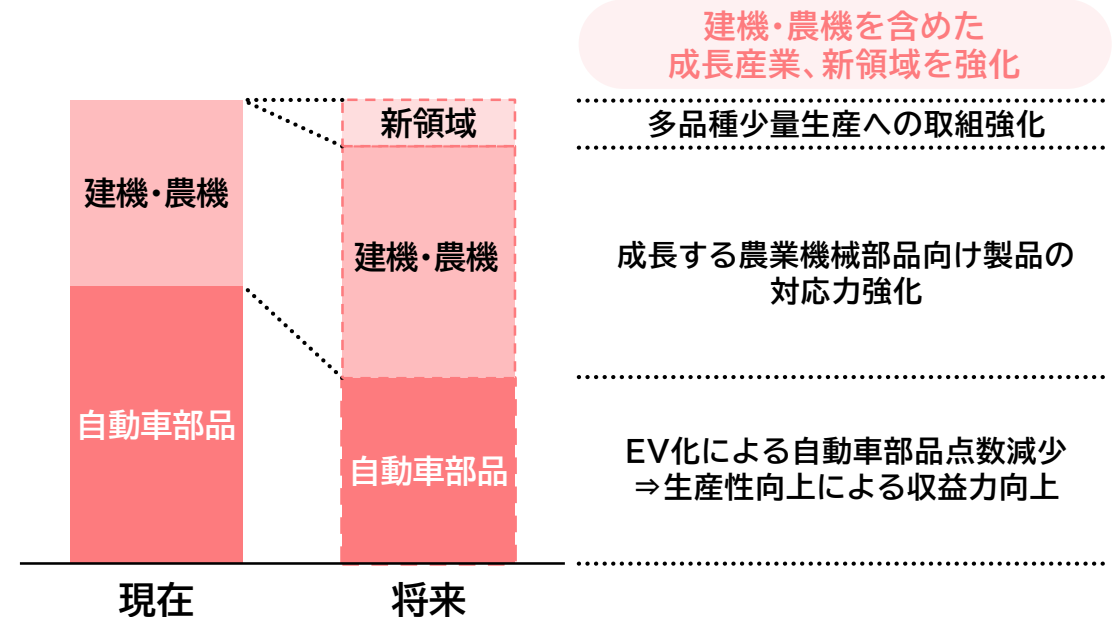


出典：・ 矢野経済研究所 四輪車世界販売台数に占める電動車比率予測（電動四輪車にはハイブリッド車等を含む）
・ IMARC Group Agriculture Equipment Market Size, Share, Trends and Forecast

成長戦略

- 機動的な製品戦略・オペレーション改革による収益力の強化
- 特定のメーカーに属さない**独立系の強み**を生かした**製品戦略**
⇒ 建設・農業機械等の成長産業向け製品強化
 - 生産性改善、多品種少量生産への対応などによる競争力強化

【製品構成の将来イメージ】
独立系の強みを生かし機動的に変化させる



事業の概要

- **2023年 M&Aにより半導体関連事業へ進出**
2023年7月 ケメットジャパン(株)及びシステム精工(株)の株式を100%取得
2024年4月 2社を合併し北川グレステック(株)設立
- **半導体**および**HDD向け**製造装置・研磨消耗品の製造・販売

事業の強み

- 世界初のHDD**自動**研磨装置開発に成功した**技術とノウハウ**
⇒削る・磨く・運ぶ・洗う・見る 各工程において
世界レベルの技術力
⇒**自動化、省人化ライン**等を**オーダーメイド**で提供可能

世界に通用する技術力

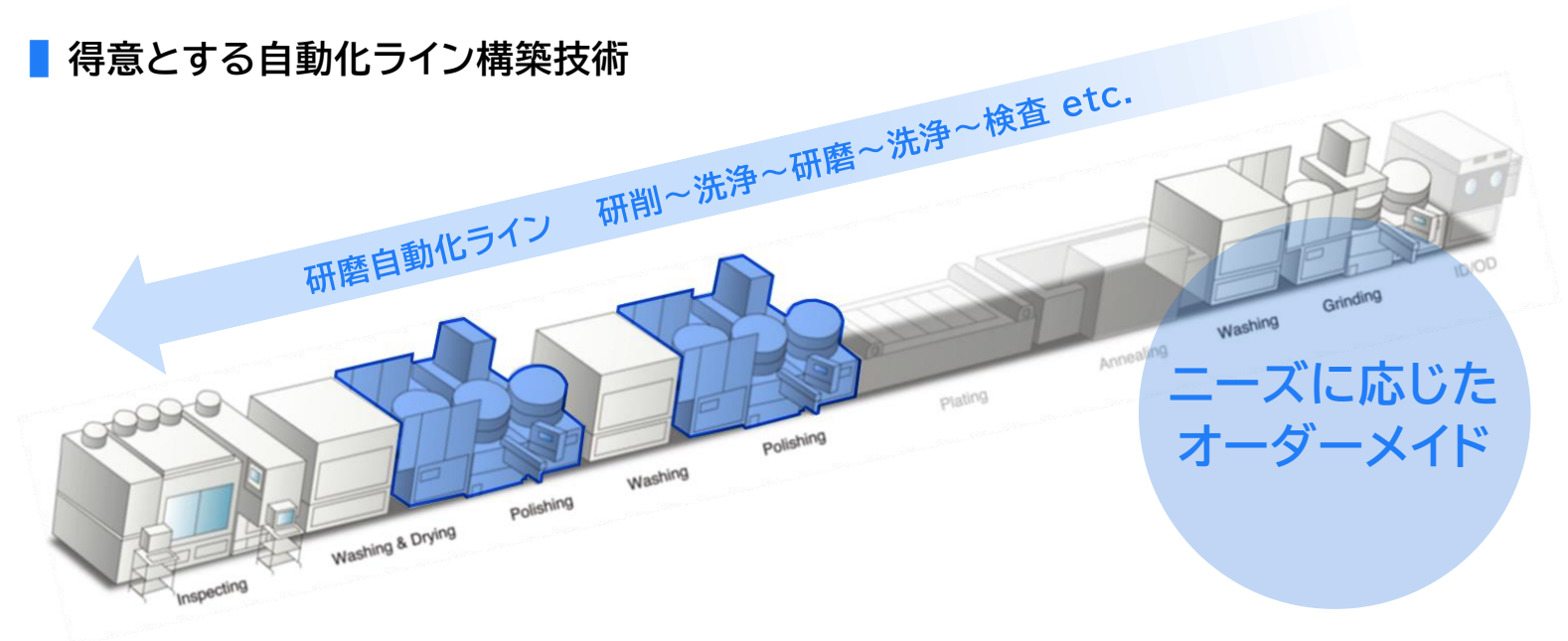
■ HDD用磁気ディスクの自動研磨装置



世界シェア **80%**

世界初の自動化

■ 得意とする自動化ライン構築技術



事業環境

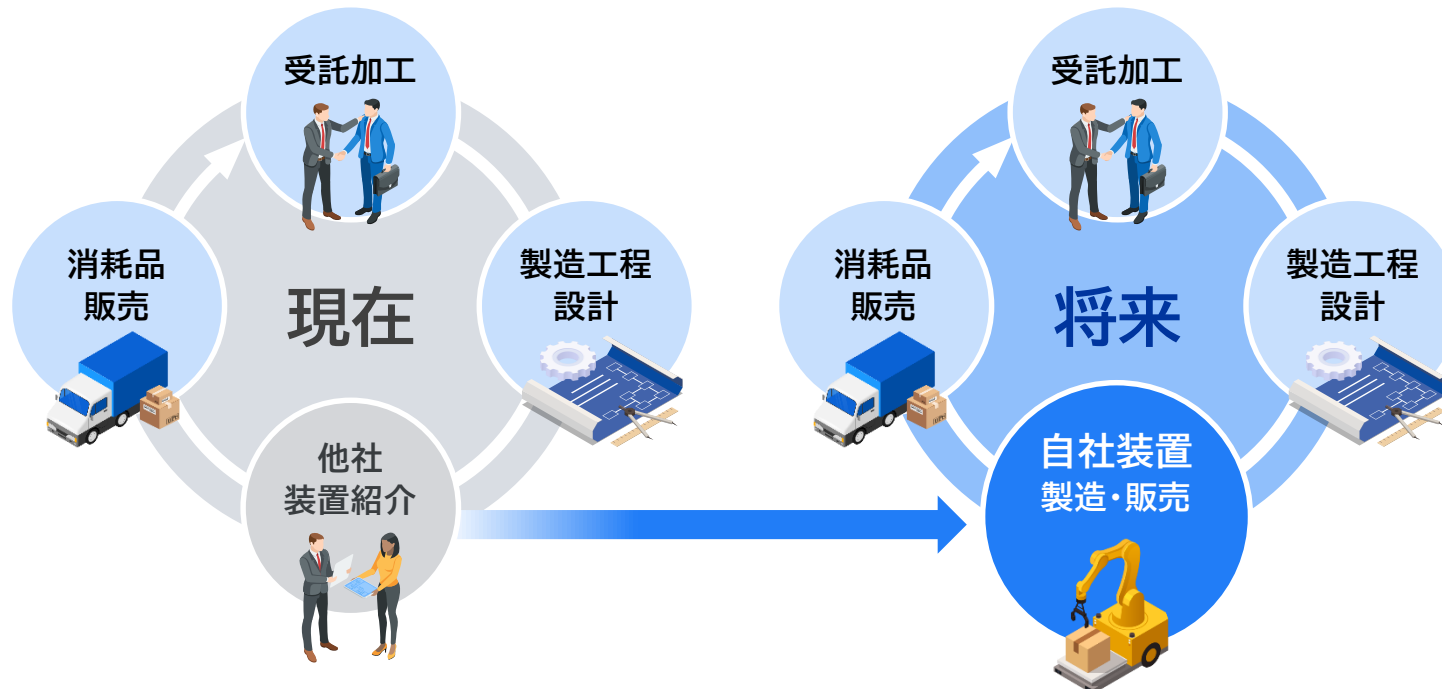
- 半導体市場全体は人工知能分野の発展、車載需要の増加により右肩上がりで成長する見通し
- 国策として半導体業界へ積極的な支援を展開（AI・半導体産業基盤強化フレーム：10兆円規模）

成長戦略

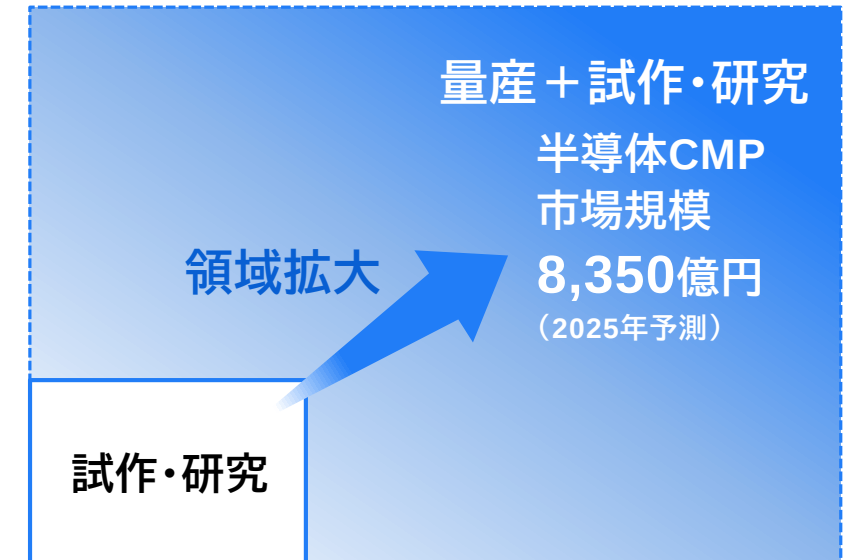
半導体製造装置メーカーとしての事業拡大

- 半導体製造装置の開発・販売
⇒ 試作・研究向けから **量産向け装置開発**
- 受託加工・装置販売・消耗品販売の **ビジネスサイクルを強化**

■ 目指すビジネスサイクル



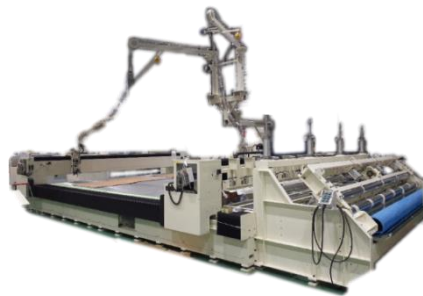
■ 北川グレステックが目指す半導体研磨工程の領域



出典：電子デバイス産業新聞 装置・消耗材を含めた半導体CMP（化学機械研磨）市場

工作“機器”だけでなく工作“機械”の製造や
廃棄物等のリサイクル機械の製造といった環境事業にも取り組んでいます

特殊工作機械事業



■ ウォータージェット加工機

- ・ 超高圧の水で金属、石材などの材料切断に活用
- ・ プラスチックやゴムなど熱に弱い物質、柔らかい物質の加工も可能



■ 摩擦接合機

- ・ 2つの材料を高速回転による摩擦熱で接合
- ・ 溶接では難しい異なる材質の接合も可能

環境事業



■ ペレガイア

造粒固化し、焼却灰・無機汚泥・建設汚泥などを再資源化



■ フォーミル

もみ殻を成形し燃料、機能性材料など固形燃料化



■ ペレメイク

廃材や間伐材の木質チップなどを固形燃料化

様々な分野で開発力・技術・品質を武器にニッチトップの座を獲得
更なる成長を目指し半導体・環境分野の開拓を目指す



03

「中期経営計画2027」概要

売上高

24年度実績

572億円



27年度計画

675億円

親会社株主に帰属する当期純利益

24年度実績

12.5億円



27年度計画

33億円

ROE・ROIC

24年度実績

ROE 3.1%

ROIC 3.0%



27年度計画

6.5%

6.0%

株主還元

24年度実績

50円



27年度計画

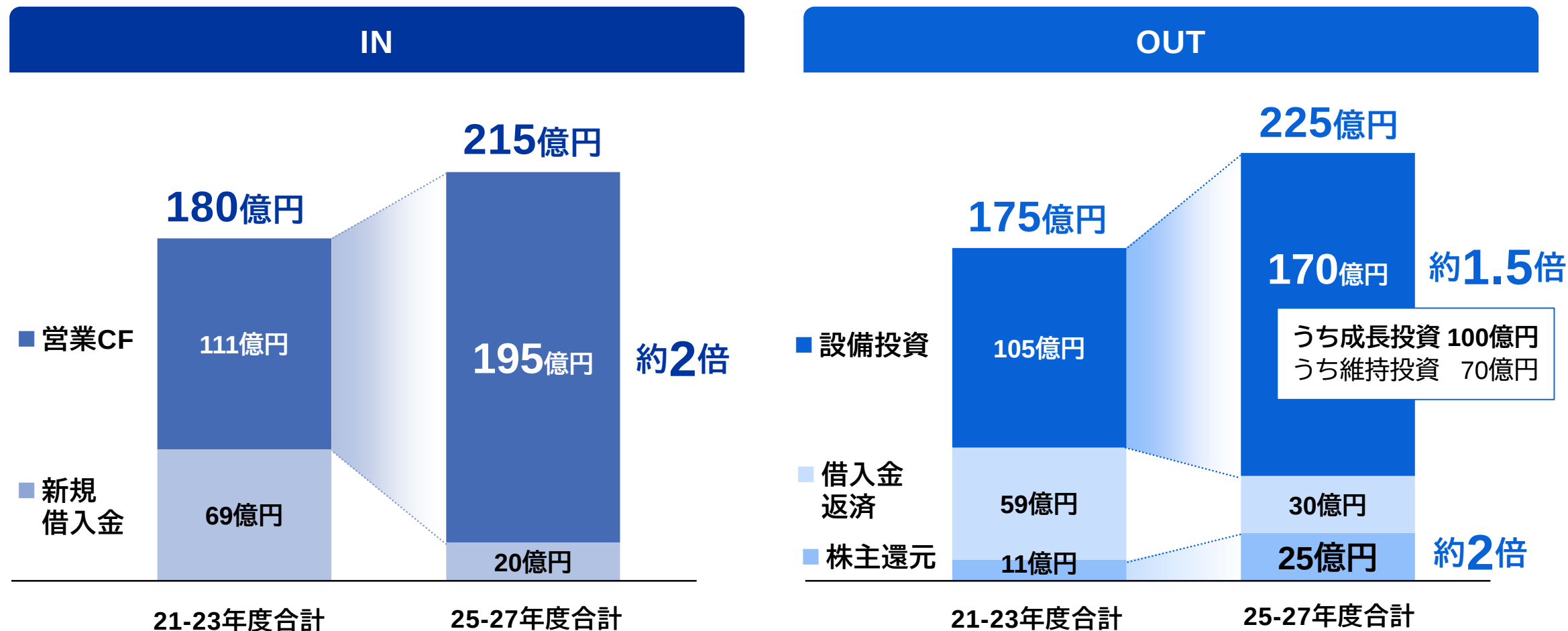
107円

中期経営計画2027:利益計画詳細

(百万円)

		2024年度実績	2027年度計画
全社合計	売上高	57,280	67,500
	営業利益	1,872	4,350
	営業利益率	3.3%	6.4%
	親会社株主に 帰属する当期純利益	1,246	3,300
キタガワ グローバル ハンドカンパニー	売上高	9,031	12,000
	営業利益	427	1,500
	営業利益率	4.7%	12.5%
キタガワ サン テック カンパニー	売上高	20,004	24,500
	営業利益	1,668	2,600
	営業利益率	8.3%	10.6%
キタガワ マテリアル テクノロジーカンパニー	売上高	24,725	26,500
	営業利益	▲128	750
	営業利益率	▲0.5%	2.8%
半導体関連事業 他	売上高	3,518	4,500
	営業利益	586	500
	営業利益率	16.7%	11.1%
共通部門	営業利益	▲681	▲1,000

中計期間中に稼いだキャッシュは足場固めのため主に設備投資及び株主還元^①に充当
特に将来の成長に必要な成長投資^②へ厚めに資金を配分



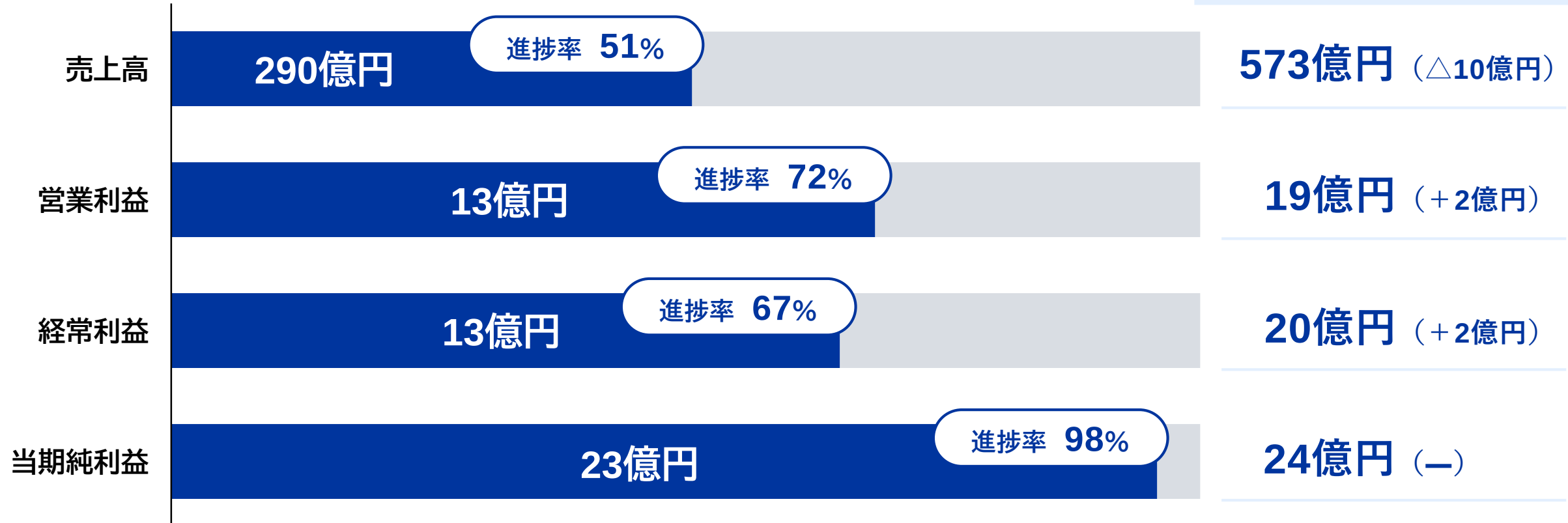
04

業績・株主還元

●売上高、利益 通期予想に対して順調に進捗

■ 2025年度中間実績

2025年度
修正業績予想(当初計画比)



2025年度中間決算ハイライト(セグメント別)

(百万円)

		2024年度 中間決算	2025年度 中間決算	前年同期比	増減率	2025年度 業績見通し	2025年度 計画比
工作機器事業 (KGh)	売上高	4,315	4,833	518	12.0%	9,900	△ 500
	営業利益	279	196	△ 83	△ 29.6%	400	△ 310
産業機械事業 (KST)	売上高	9,866	11,984	2,118	21.5%	21,300	500
	営業利益	520	1,610	1,090	209.4%	2,200	230
金属素形材事業 (KMT)	売上高	12,929	11,375	△ 1,554	△ 12.0%	24,000	△ 300
	営業利益	△ 242	112	354	—	500	300
半導体関連事業 (KGT)	売上高	946	753	△ 193	△ 20.4%	1,600	50
	営業利益	174	6	△ 168	△ 96.2%	0	0
その他事業	売上高	384	136	△ 248	△ 64.6%	500	△ 750
	営業利益	△ 11	△ 56	△ 45	—	△ 70	△ 220
共通費用	営業利益	△ 318	△ 496	△ 178	—	△ 1,130	200
合計	売上高	28,443	29,083	640	2.3%	57,300	△ 1,000
	営業利益	402	1,373	971	241.6%	1,900	200

株主の皆様への更なる利益還元の姿勢を明確化するため、配当方針の変更を実施
(2025年4月18日プレスリリース)

基本方針

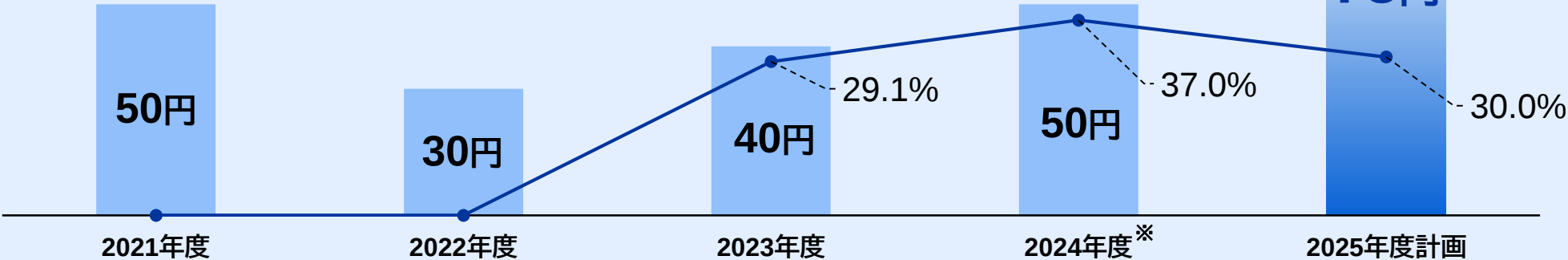
年間50円の安定配当を実施するとともに、利益に応じた段階的な連結配当性向
(下表ご参照)による配当を目標に実施

親会社株主に帰属する当期純利益			株主還元方針
50億円超	—		連結配当性向 40% を目標として還元
35億円超	—	50億円以下	連結配当性向 35% を目標として還元
15億円超	—	35億円以下	連結配当性向 30% を目標として還元 (50円 を下限として還元)
—	—	15億円以下	50円 を下限として還元

利益に応じて
UP

(従来方針: 連結配当性向30%を目標とした安定した配当を継続)

■ 一株当たり配当金(円) ● 配当性向(%)



※配当方針の変更を前倒しで適用



本資料に関するご注意

- 本資料に記載する業績予想などの将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
- このため、様々な要因の変化により、実際の業績とは大きく異なる結果となることをご承知おきください。
- 本資料の一切の権利は当社に属しており、方法・目的を問わず無断の複製・転載をお断りします。

問い合わせ先

総務部総務課 IR担当

☎ 電話番号 0847(40)0501

🌐 企業サイト <https://www.kiw.co.jp/>